

## 東京外国為替市場委員会 第 160 回会合 議事録

開催日時 2013 年 3 月 19 日 13 : 00～14 : 00  
場 所 日本銀行本店 新館 9 階中会議室 B  
議 長 星野 昭  
副 議 長 中野 北斗  
副 議 長 大西 知生  
書 記 齋藤 克仁  
出席委員 22 名

### I. 委員の選任について

星野議長より、以下の方々から委員への立候補届けがあったとの報告があり、立候補者による所信表明、推薦人による推薦を経て委員による投票が行われ、下記候補者は全会一致で新委員に選任されました。

古海 敏勝 (シティバンク銀行)  
宮崎 誠 (CLS)

### II. 委員の任期満了・再任について

星野議長より、大木委員の委員としての任期が満了することが報告されました。大木氏から、委員に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

### III. 小委員会報告

#### 1. 運営小委員会

塚田委員長より、前回の本委員会以降の各種小委員会の取り組みの概要について、説明がありました。また、運営小委員会の場では、外国為替取引高サーベイ (2013 年 4 月分) の実施スケジュールや、先日開催された外国為替市場委員会グローバル会合の結果について、情報が共有されたとの報告がありました。

#### 2. BCP 小委員会

森準委員より、2 月 19 日に実施した 3 市場合同訓練のアンケート結果について、報告がありました。具体的には、多くの金融機関から、今回の訓練では、日銀ネットの稼働状況を踏まえて、自社の業務ステータスを BCP Web 上で速やかに反映させることができたとの声が寄せられたとの報告がありました。また、森氏からは、今回の訓練で試みたシナリオのブラインド化についても、一定の効果があったとのポジティブな意見が多く寄せられたとの説明がありました。今後の検討課題としては、①より高いストレスの下での訓練を実施することや、②BCP Web の使い勝手を改善すること、が指摘されたとの報告がありました。

### 3. Code of Conduct 小委員会

大西委員長より、Code of Conduct の改訂作業に携わっている実務者間の会合を3月6日に開催したとの報告がありました。会合の間では、今後の改訂作業の方針を再確認したほか、ACIの「The Model Code」の内容を踏まえ、現行のオレンジブックに追加する論点や削除する論点を検討したとの説明がありました。また、大西氏からは、今後の作業スケジュールについて、改訂案のドラフトを4月中に作成し、5月の本委員会の場で内容の賛否を図ったうえで、秋頃を目処に改訂作業を完了させる予定であるとの報告がありました。

### 4. 教育小委員会

大柿委員長より、3月11日に開催したフォレックスセミナーの収支報告がありました。収支報告の中で、大柿氏からは、ドル/円相場に対する注目度が高かったこと、今回のセミナーでは100名の参加があったとの説明がありました。

### IV. 外国為替取引高サーベイ等

井出準委員より、外国為替取引高サーベイ（2013年4月分）の実施要領について報告があり、調査項目や調査対象金融機関は前回（2012年10月分）から変更がない旨の説明がありました。今後のスケジュールについては、今月末を目処に、サーベイの依頼状を調査先に対して送付し、5月末までの回答を依頼したうえで、7月下旬を目処に、サーベイの結果を対外公表する予定であるとの報告がありました。

なお、星野議長からは、本年も、外国為替取引高サーベイを補完する目的で、外為証拠金取引に関する調査を金融先物取引業協会に依頼しているとの報告がありました。

### V. 外国為替市場委員会グローバル会合

齋藤書記より、3月15日に香港で開催された外国為替市場委員会グローバル会合の結果について、報告がありました。会合の間では、中野副議長から、東京外為市場委の活動状況や最近の話題として、①外国為替取引高サーベイの頻度を年1回から2回に拡充したこと、②東京市場のCode of Conductの全面改訂を行っていること、③規制関連では、OTCデリバティブに係るマージン規制に対する懸念が強いこと、④最近の東京市場では、取引高が大きく増加していること、について報告があったとの説明がありました。

また、齋藤氏からは、会合の主要な議題として、①規制（OTCデリバティブに係るマージン規制、米国のDodd-Frank規制、米国の取引情報報告義務）を巡る最近の動向、②為替取引を巡る最近の環境変化、③各市場委のCode of Conductに関するHigh Level Principle、④香港のオフショア人民元市場の動向、が取り上げられたとの報告がありました。

### VI. CLS の決済サーベイ等

今回の本委員会では、CLSが実施を予定している決済サーベイについて、宮崎委員に報告を依頼し、宮崎氏から、サーベイの目的や方法について簡単な説明がありました。また、宮崎氏からは、CLS決済を利用した為替取引の最近の動向（通貨ペア毎の金額や件数等）についても、別途説明がありました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (3月19日現在)

<委員>

議長	○星野 昭	(三菱東京 UFJ 銀行)
副議長・市場調査小委員長	○中野 北斗	(みずほコーポレート銀行)
副議長・CoC 小委員長	○大西 知生	(ドイツ証券)
書記	○齋藤 克仁	(日本銀行)
運営小委員長	○塚田 常雅	(三菱 UFJ 信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS デイリングリソースジャパン)
法律問題小委員長	○今西 晋嗣	(三井住友信託銀行)
オペレーション小委員長	○福島 亮一	(みずほ銀行)
E コマース小委員長	○高木 晴久	(三井住友銀行)
NDF 慣行整備小委員長	廣田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)
教育小委員長	○大柿 敦郎	(野村証券)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	○石川 昌信	(トウキョウフレックス上田ハーロー)
	○岩田 智宏	(ゴールドマン・サックス証券)
	○花生 浩介	(香港上海銀行)
	○Joseph A. Kraft Jr.	(バンク・オブ・アメリカ)
	○古海 敏勝	(シティバンク銀行)
	○宮崎 誠	(CLS)

<準委員>

○伊藤 祐介	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○筒井 慎一	(みずほコーポレート銀行)
○森 直樹	(三菱東京 UFJ 銀行)
○井出 穰治	(日本銀行)

<オブザーバー>

○飯塚 正明	(財務省)
--------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。